



平成武師道

(人間活動学)

義

001 我を美しく生きるために

義という字は、「我を美しく」と書くように見えます。

しかし、美しく生きるなんてそう簡単には言えないものです。

美しく生きようと考えていても、周りにはいろいろな誘惑というものが落ちています。

誘惑は、拾ってくれよと言わんばかりに落ちています。

落ちているものは汚くなっています。

一見、綺麗に見えていても、下に落ちているものは目に見えない悪いものが付着しているのです。

それを少しでも拾ってしまったら、せっかく美しく生きようとした道と

反対の道を歩んでしまうことになってしまいます。

ふらふらした立ち方、足取りではすぐに倒れてしまい、地に落ちて汚れてしまいます。

足元の土台をしっかり築くように固め、注意を払いながら美しい姿勢を作り、

それを保つことで誘惑も近づくことはできません。

この美しく生きる姿勢の土台が、義という始めの一步を作るのではないのでしょうか。

だからこそ、「我を美しく」生きていくことを、義というのではないのでしょうかね。

002 人生の骨組み

君が住んでいるマンションはどうですか。

大きな地震がきたら、大丈夫ですか。

すぐに傾いてしまうのではないですか。

やっぱり建物というものは土台をしっかりとしなければ、すぐに倒れます。

それでは駄目なのです。

外見ばかり着飾っていても、中身がしっかりしていなければ、脆いものです。

あなたの体もしっかりとした骨があるから立てたり、物を取ったりすることができるのでしょう。

きれいな服や宝飾類も付けるなどとは言いません。

しかし、骨組みがしっかりしていなければ、何もできませんよね。

生き方もそうです。

どう生きるか。

どんな人生を作るか。

そのためには、人生の骨組みを作らなければいけません。

